教職員向け（高等学校向け）

平成30年3月
北海道教育委員会
ネットトラブル未然防止のための総合ヘルプサイト

不正アプリのインストールによる個人情報の漏えい

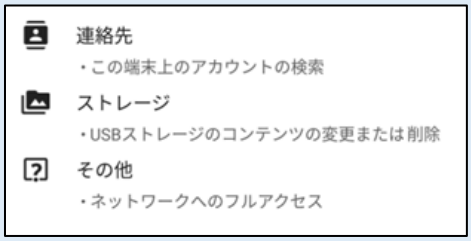
独立行政法人情報処理推進機構が本年１月に発表した「情報セキュリティ10大脅威2018」では、個人向けの10大脅威の４位に「スマートフォンやスマートフォンアプリを狙った攻撃の可能性」がランクインしました。子どもたちのスマートフォンの所持率が増加する中、どのような点に注意が必要なのか考えてみましょう。

不正アプリとアクセス権限

スマートフォンにアプリをインストールする際、そのアプリに必要なアクセス権限※が表示され、権限を与えるかどうかの選択が表示されます。多くの場合は、アプリを機能させるのに必要な権限が表示されますが、例えば、電卓のアプリが本来の機能に関係のない「連絡先」や「ネットワークへのアクセス」の権限を求めてきた場合、連絡先に登録されている情報をネットワークを使って外部に送信するなど、悪意のある動作をする懸念があります。そのようなアプリを「不正アプリ」と呼びます。

≪※アクセス権限とは≫

アクセス権限とは、そのアプリが端末の中で何をすることができるのかの範囲を示すものです。以下の場合、連絡先やデータフォルダへのアクセスや、インターネット接続ができるということになります。



不正アプリをインストールしないために

不正アプリは有名なアプリに偽装しているものもあり、アプリを見ただけでは不正アプリかどうかを見分けるのは困難です。不正アプリから自分の大切な情報を守るために以下のポイントに気を付けましょう。

【不正アプリ対策のポイント】

1. Google Play ストアやApp Storeといった公式のアプリマーケットを利用しましょう。
2. アクセス許可を求められた場合は、許可しても問題がないかなどを確認しましょう。
3. OSやアプリのバージョン更新が行われた場合、速やかに最新バージョンをインストールしましょう。
4. セキュリティソフトを利用しましょう。

※「ダウンロード」とは、ネットワーク上にあるファイルを、自分のパソコンやスマホにコピーする（落としてくる）こと
※「インストール」とは、パソコン（スマホ）上でアプリやソフトを使える状態に整えること
アプリやソフトをダウンロードしただけではまだ使えず、ダウンロードしたアプリやソフトをインストールすることで使えるようになる

指　導　の　要　点

まず、子どもたちには不正アプリの存在と、アプリを安易にインストールすることの危険性を伝えましょう。不正アプリの被害に遭わないために、新しいアプリをダウンロードする際には、必ず保護者の許可を得て、公式のアプリマーケットからダウンロードするように指導しましょう。

ネットトラブル未然防止のための総合ヘルプサイト
ネット利用に関わる専門的な相談の窓口です

◎本資料は北海道教育委員会とピットクルー株式会社が平成30年3月に作成したものです。
子どもたちのインターネット利用に関わる相談等がありましたら、下記のURLまでご相談ください。
≪北海道教育委員会ネットトラブル未然防止のための総合ヘルプサイト≫
https://webreport.pit-crew.co.jp/hokkaido/helpsite/